

2019年3月期決算説明会

項目	スピーカー
(事務局から)	司会者
1.はじめに	代表取締役副社長 CFO 杉山 徹
2.19.3期決算概要・20.3期業績予想について (質疑応答)	執行役員 経理部長 池尻 修

NHKニッパツ

日本発条株式会社



はじめに

代表取締役副社長
CFO

杉山 徹

19.3期実績

	18.3期 (17年度) 実績	19.3期 (18年度)					
		実績				当初計画 (18.5.11時点)	修正計画 (19.2.6時点)
			前期比	当初計画比	修正計画比		
売上高	6,597	6,810	3.2%	△1.3%	△0.7%	6,900	6,860
営業利益 営業利益率	355 5.4%	266 3.9%	△25.0%	△11.2%	△1.3%	300 4.3%	270 3.9%
経常利益 経常利益率	364 5.5%	314 4.6%	△13.6%	△1.7%	4.9%	320 4.6%	300 4.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	204	71	△65.3%	△67.7%	△66.2%	220	210
EPS (単位：円)	86.45	29.97	—	—	—	92.79	88.57
ROE	7.2%	2.5%	—	—	—	7.3%	—
為替レート (US\$) (タイバーツ)	110.8 3.3	110.7 3.4	—	—	—	110.0 3.4	110.4 3.4

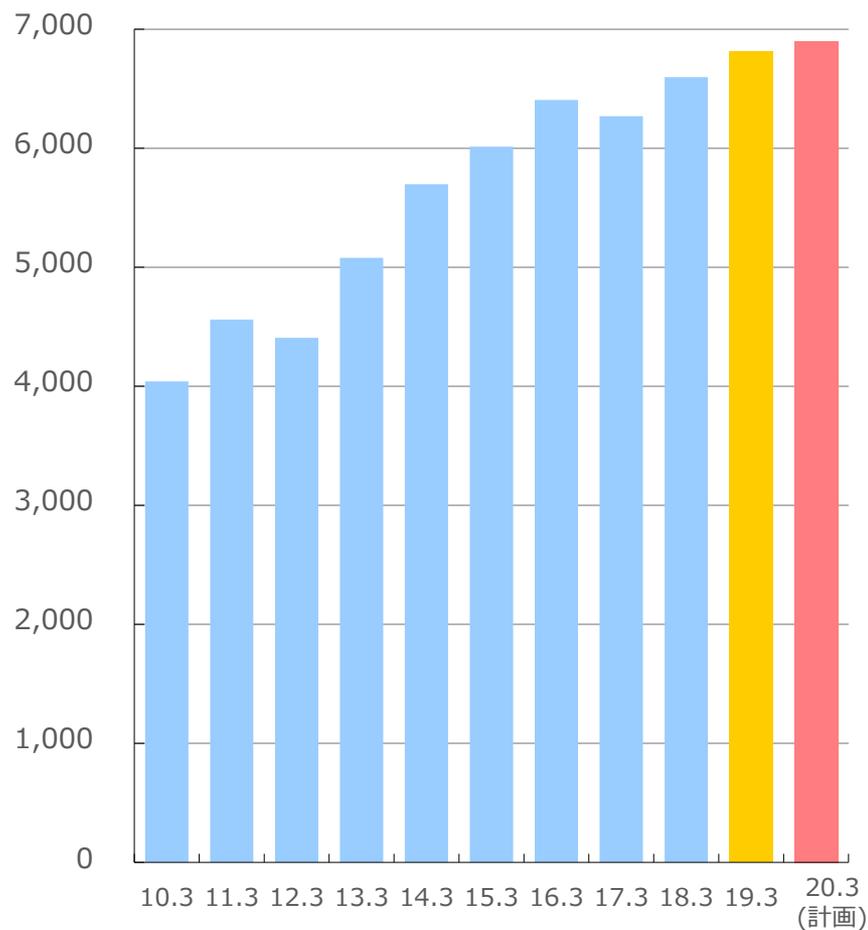
20.3期計画

	19.3期 (18年度) 実績	20.3期 (19年度) 計画	前期比
売上高	6,810	6,900	1.3%
営業利益 営業利益率	266 3.9%	200 2.9%	△25.0%
経常利益 経常利益率	314 4.6%	220 3.2%	△30.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	71	140	97.1%
EPS (単位：円)	29.97	59.05	—
ROE	2.5%	4.9%	—
為替レート (US \$) (タイバーツ)	110.7 3.4	105.0 3.4	— —

業績推移

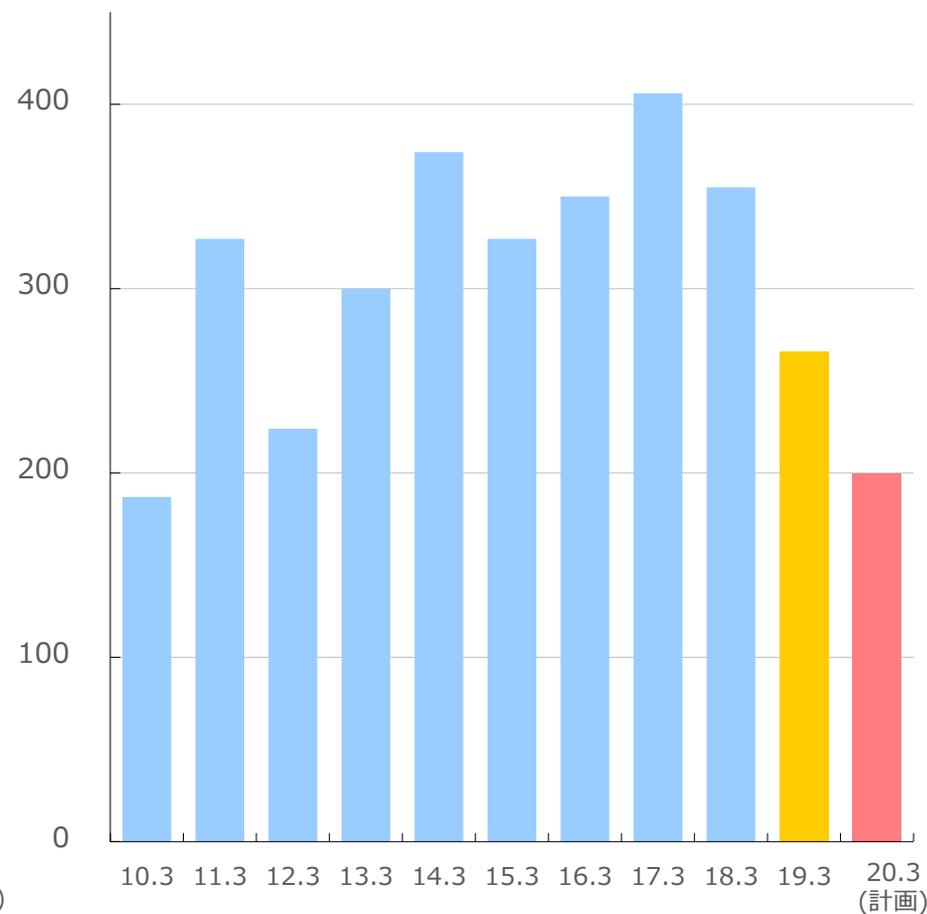
売上高

(億円)



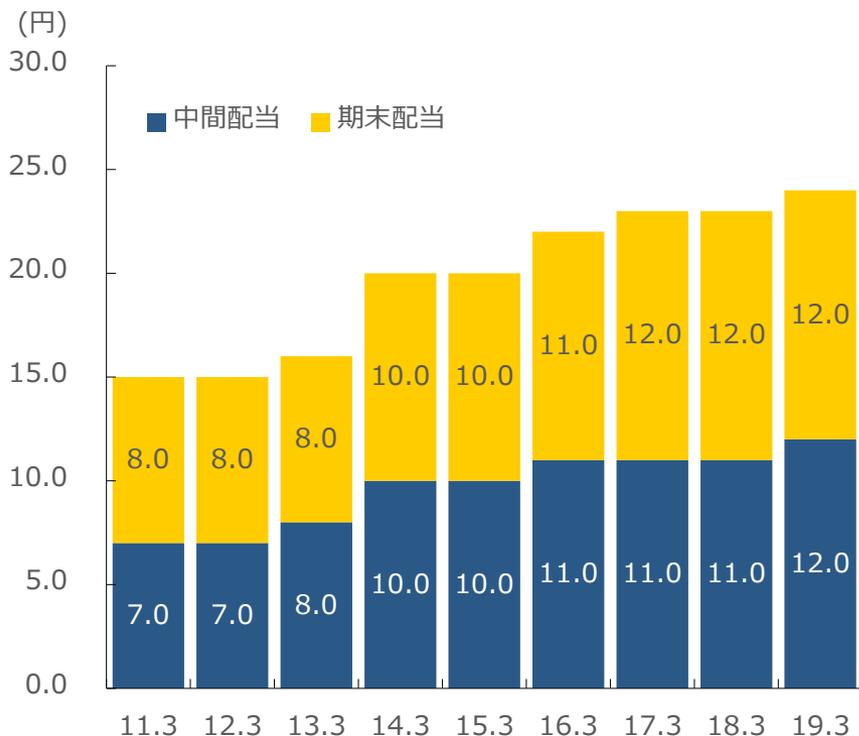
営業利益

(億円)

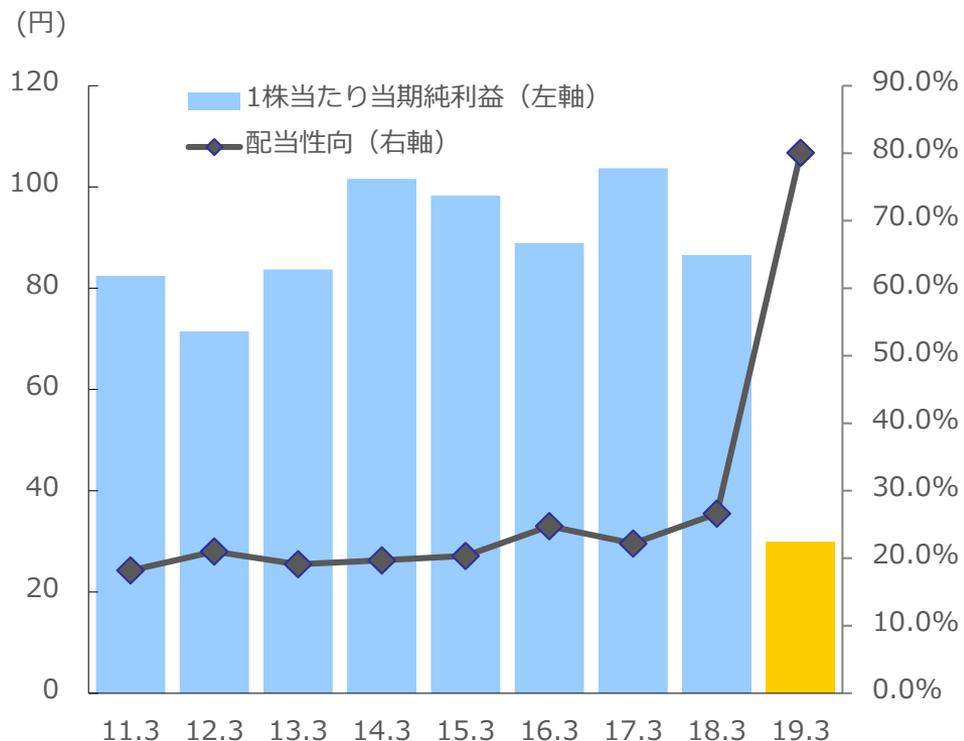


配当

1株当たり配当額



1株当たり当期純利益



第2四半期末

期末

合計

配当性向

19.3期 (18年度) 実績	12.0円	12.0円	24.0円	80.1%
20.3期 (19年度) 予想	—	—	—	—

▽20.3期 (19年度) の期末の配当金額については未定であります。

19.3期決算概要 20.3期業績予想 について

執行役員 経理部長 池尻 修

19.3期決算概要

19.3期実績 決算概要

日本発条株式会社

(億円)

	18.3期 (17年度) 実績	19.3期(18年度)					
		実績				当初計画 (18.5.11時点)	修正計画 (19.2.6時点)
			前期比	当初計画比	修正計画比		
売上高	6,597	6,810	3.2%	△1.3%	△0.7%	6,900	6,860
営業利益	355	266	△25.0%	△11.2%	△1.3%	300	270
経常利益 (うち、為替差損益)	364 (△19)	314 (9)	△13.6%	△1.7%	4.9%	320 (-)	300 (2)
親会社株主に帰属 する当期純利益 (うち、特別損益)	204 (△37)	71 (△113)	△65.3%	△67.7%	△66.2%	220 (-)	210 (10)
平均為替レート (US\$)	110.8	110.7	-	-	-	110.0	110.4
(タイバーツ)	3.3	3.4	-	-	-	3.4	3.4
期末為替レート (US\$)	106.2	111.0	-	-	-	110.0	108.0
(タイバーツ)	3.5	3.4	-	-	-	3.4	3.4

19.3期実績 特別損益（主な内訳）

（億円）

科目		内容	金額
特別利益	固定資産売却益	不動産の売却	14
	合計		14
特別損失	減損損失	生産設備・遊休不動産 等	115
	関係会社株式評価損	海外子会社株式評価損	6
	投資有価証券評価損	株式の評価損	4
	独占禁止法関連損失	独占禁止法に係る 調査対応に伴う弁護士費用	1
	合計		127

19.3期実績 減損損失

◆ ハンガリー子会社

受注は順調に増加しているものの、生産が後ろ倒しになっていることを主因に収支は計画を下回って推移する見込み。

◆ 国内子会社及び海外子会社

主として競争の激化に伴う収益性の低下から、収支改善に遅れが生じている。

(億円)

用途	会社名	内容	金額
生産設備	国内子会社	機械装置、建設仮勘定、土地 他	8
	ハンガリー子会社	機械装置、建物 他	68
	アメリカ子会社	機械装置、建物 他	28
	メキシコ子会社	建物、建設仮勘定、機械装置 他	9
遊休 不動産	当社	建物	0.7
	国内子会社	土地	0.3
合計			115

19.3期実績

セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 自動車関連は、前期に対して、売上はグローバルで拡大したが、日本における数量減、製品構成の変化等により減益となった。
- ◆ 精密部品は、前期に対して、数量増等により売上は増加したが、新工場建設に伴う費用の増加等により、減益となった。
- ◆ 産業機器ほかは、前期に対して、半導体関連部品、金属基板等、堅調に推移した。

(億円)

		18.3期 (17年度) 実績	19.3期 (18年度) 実績	19.3期 当初計画 (18.5.11時点)	前期比	当初 計画比
懸架ばね	売上高	1,242	1,288	1,305	3.7%	△1.2%
	営業利益	96	61	90	△35.7%	△31.2%
	率	7.7%	4.8%	6.9%	-	-
シート	売上高	2,957	3,032	3,082	2.5%	△1.6%
	営業利益	94	44	69	△53.1%	△35.7%
	率	3.2%	1.5%	2.2%	-	-
精密部品	売上高	1,478	1,529	1,554	3.4%	△1.6%
	営業利益	108	97	87	△9.8%	12.6%
	率	7.3%	6.4%	5.6%	-	-
産業機器 ほか	売上高	918	959	959	4.4%	0.0%
	営業利益	56	62	54	11.2%	15.4%
	率	6.1%	6.5%	5.6%	-	-
合計	売上高	6,597	6,810	6,900	3.2%	△1.3%
	営業利益	355	266	300	△25.0%	△11.2%
	率	5.4%	3.9%	4.3%	-	-

19.3期実績

地域別の売上高・営業利益の状況

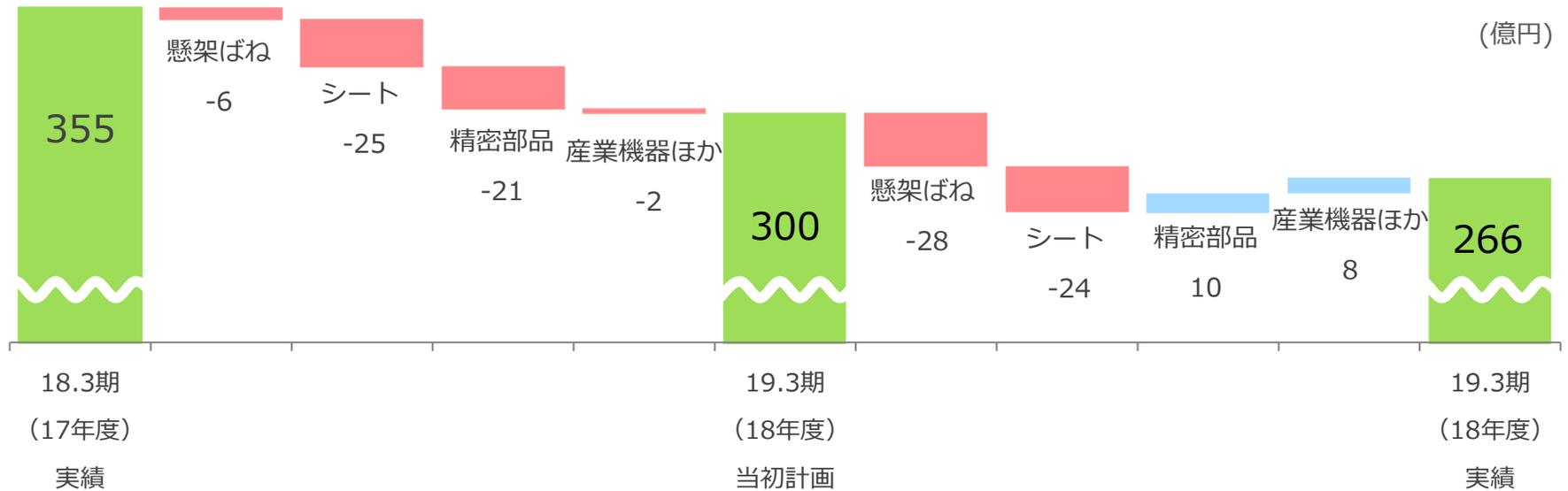
- ◆ 日本 : 各事業とも受注は堅調であったが、新工場建設に伴う費用増、製品構成の変化等により前期に対して減益となった。
- ◆ アジア : タイは堅調に推移したが、中国における数量減により前期に対して、減益となった。
- ◆ 米欧ほか : 数量増により増収となったが、製品構成の変化、労務費、減価償却費等の固定費増により減益となった。

(億円)

		18.3期 (17年度) 実績	19.3期 (18年度) 実績	19.3期 当初計画 (18.5.11時点)	前期比	当初 計画比
日本	売上高	4,023	4,032	4,139	0.2%	△2.6%
	営業利益	247	195	163	△21.0%	20.0%
	率	6.2%	4.9%	3.9%	—	—
アジア	売上高	1,561	1,689	1,645	8.2%	2.7%
	営業利益	124	113	127	△8.6%	△10.5%
	率	8.0%	6.7%	7.7%	—	—
米欧ほか	売上高	1,012	1,087	1,116	7.4%	△2.6%
	営業利益	△16	△42	10	—	—
	率	△1.6%	△3.9%	0.9%	—	—
合計	売上高	6,597	6,810	6,900	3.2%	△1.3%
	営業利益	355	266	300	△25.0%	△11.2%
	率	5.4%	3.9%	4.3%	—	—

19.3期実績 営業利益の変動要因分析

事業セグメント別

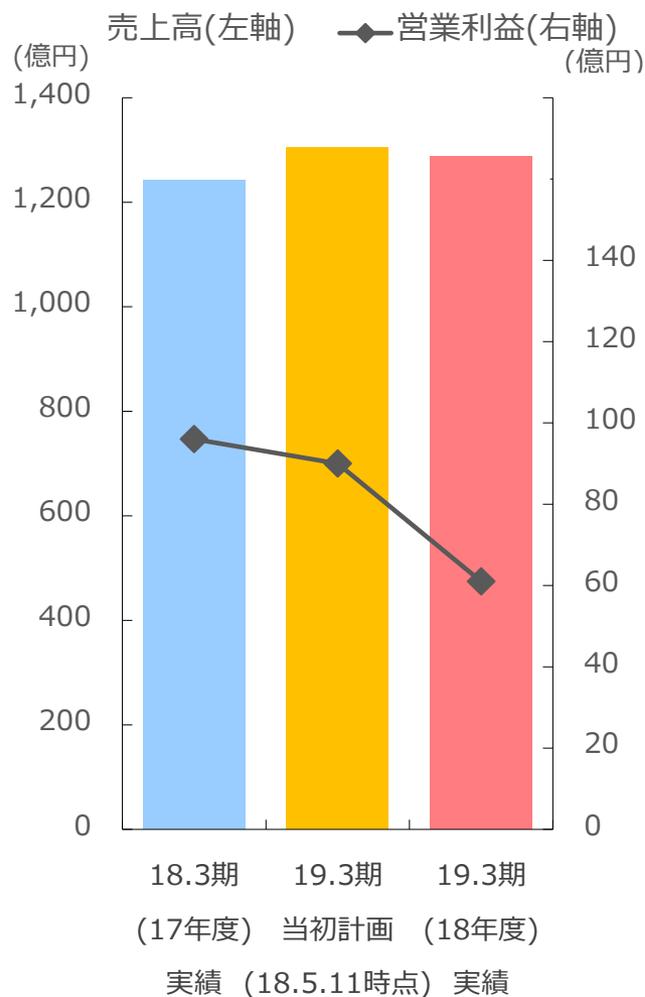


地域セグメント別

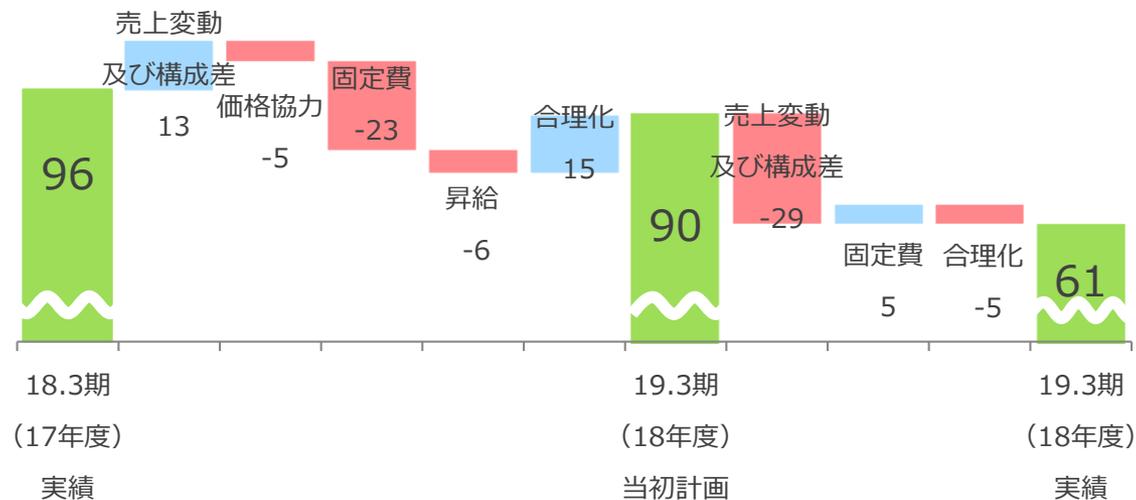


19.3期実績 セグメント別分析 懸架ばね

(億円)



	18.3期 (17年度) 実績	19.3期(18年度)		前期比	当初計画比
		実績	当初計画 (18.5.11時点)		
売上高	1,242	1,288	1,305	3.7%	△1.2%
営業利益	96	61	90	△35.7%	△31.2%
営業利益率	7.7%	4.8%	6.9%	-	-



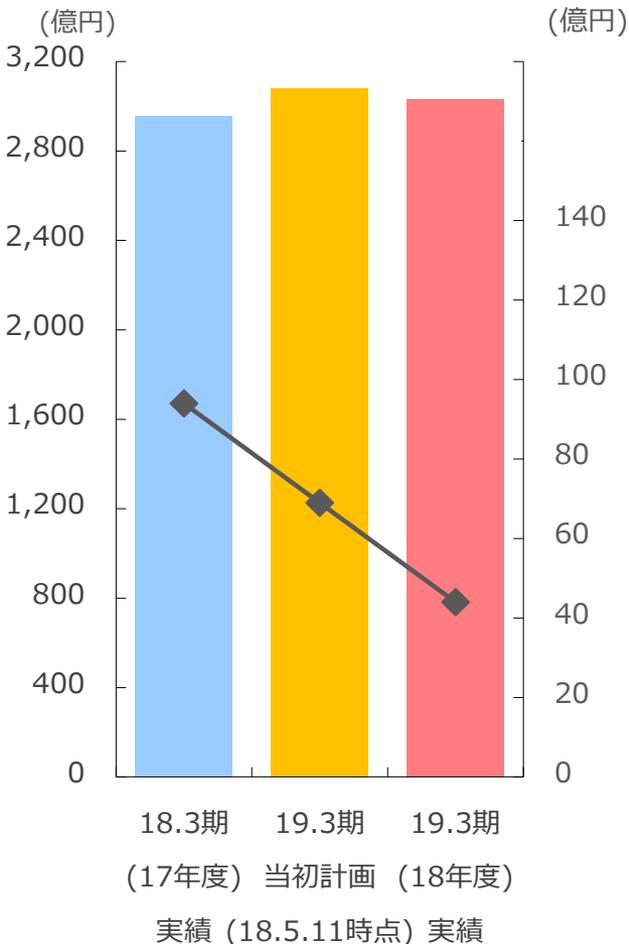
▽対前期実績：グローバルでの売上は拡大したが、数量増に伴う固定費増、製品構成の変化等により減益となった。

▽対当初計画：主に米欧ほか、アジア地域の数量減等により減益となった。

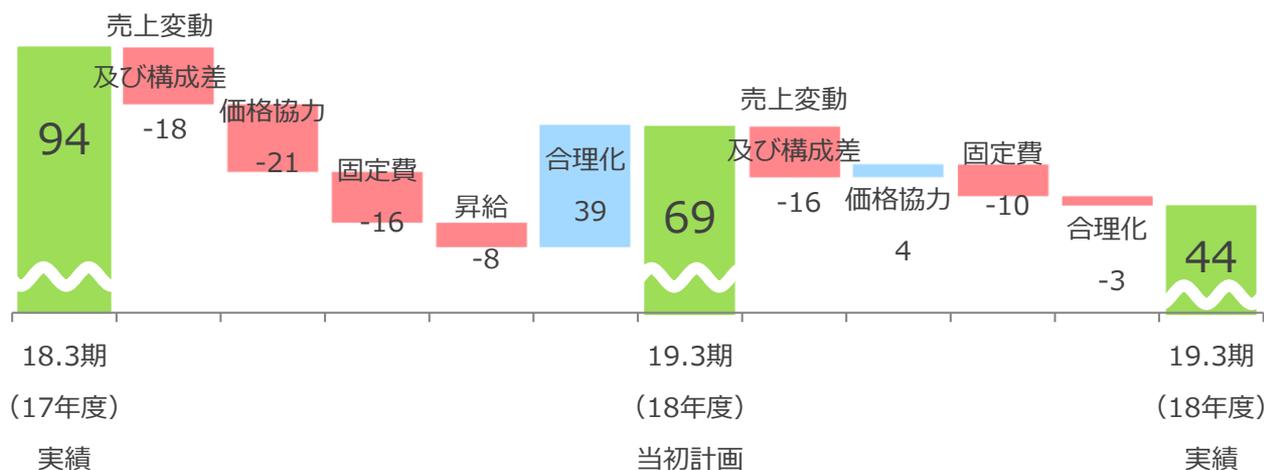
19.3期実績 セグメント別分析 シート

売上高(左軸) ◆ 営業利益(右軸)

(億円)



	18.3期 (17年度) 実績	19.3期(18年度)		前期比	当初 計画比
		実績	当初計画 (18.5.11時点)		
売上高	2,957	3,032	3,082	2.5%	△1.6%
営業利益	94	44	69	△53.1%	△35.7%
営業 利益率	3.2%	1.5%	2.2%	-	-



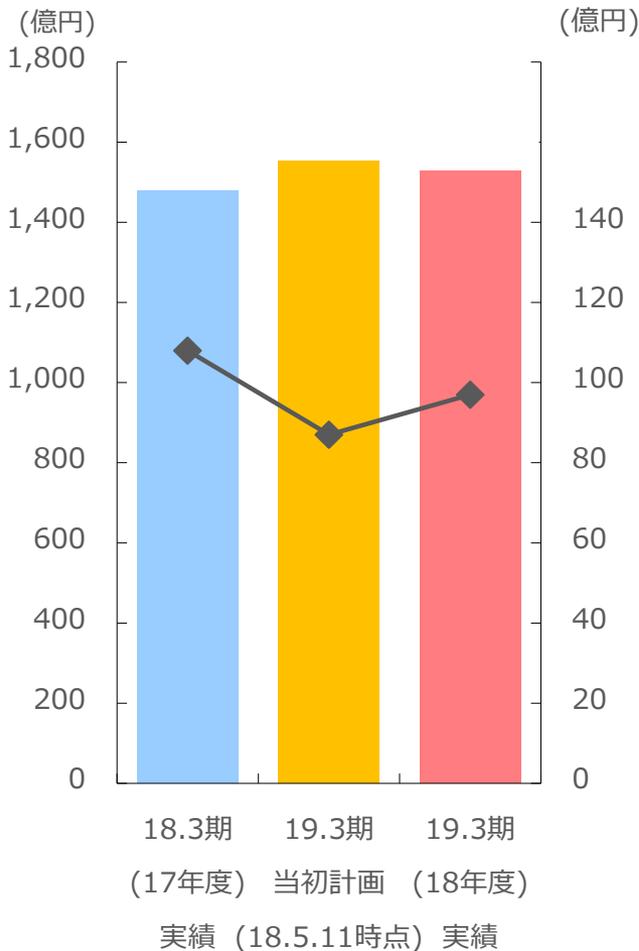
▽対前期実績：グローバルでの売上は拡大も、日本及び中国における数量減、製品構成の変化、固定費増等により減益となった。

▽対当初計画：アジア好調も、日本、米欧地域の数量減等により減益となった。

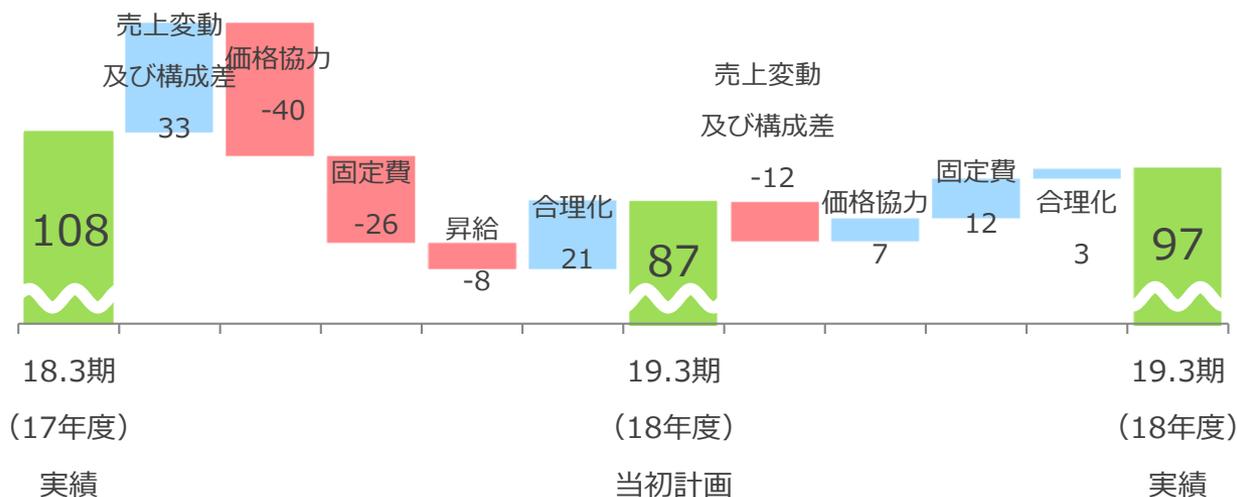
19.3期実績 セグメント別分析 精密部品

売上高(左軸) ◆ 営業利益(右軸)

(億円)



	18.3期 (17年度) 実績	19.3期(18年度)		前期比	当初計画比
		実績	当初計画 (18.5.11時点)		
売上高	1,478	1,529	1,554	3.4%	△1.6%
営業利益	108	97	87	△9.8%	12.6%
営業利益率	7.3%	6.4%	5.6%	-	-



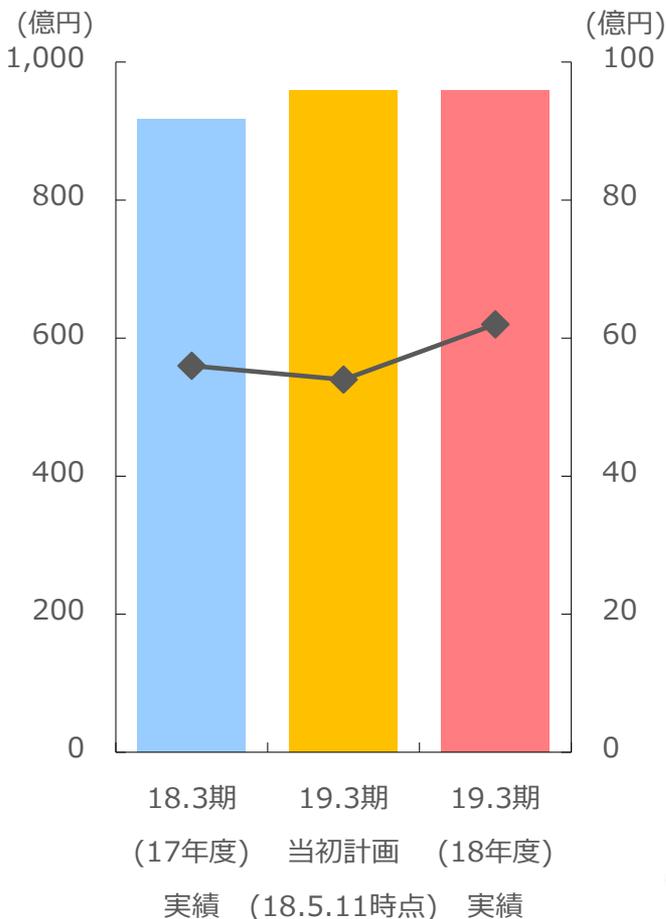
▽対前期実績：受注は堅調であったが、新工場建設に伴う固定費増等により減益となった。

▽対当初計画：数量減等により減収となったが、製品構成の変化、合理化、固定費削減等により増益となった。

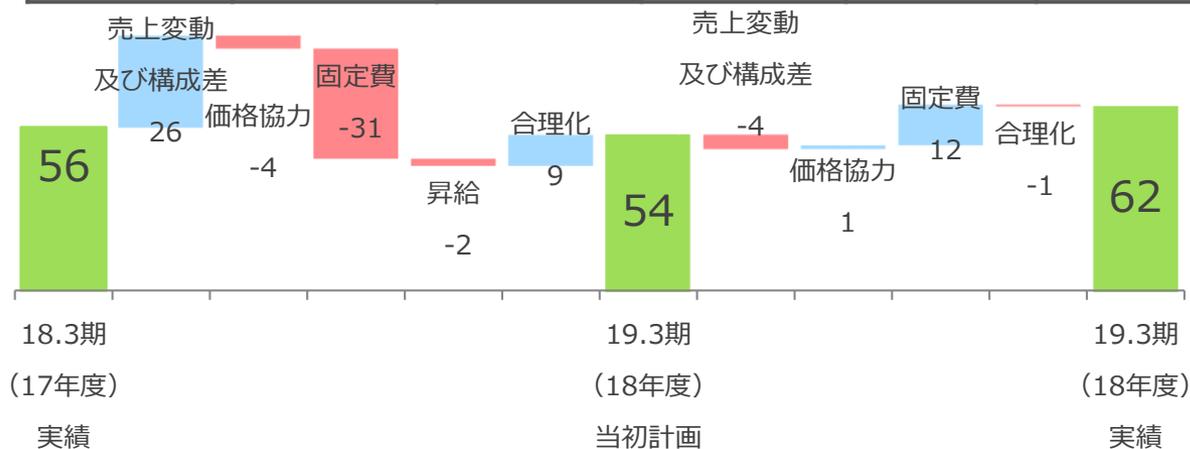
19.3期実績 セグメント別分析 産業機器ほか

(億円)

売上高(左軸) ◆ 営業利益(右軸)



	18.3期 (17年度) 実績	19.3期(18年度)		前期比	当初 計画比
		実績	当初計画 (18.5.11時点)		
売上高	918	959	959	4.4%	0.0%
営業利益	56	62	54	11.2%	15.4%
営業 利益率	6.1%	6.5%	5.6%	-	-



▽対前期実績：金属基板、グループ会社等が好調に推移した。

▽対当初計画：半導体関連部品の数量が減少したものの、金属基板を中心に、グループ会社等が好調に推移した。

19.3期実績 資産の状況

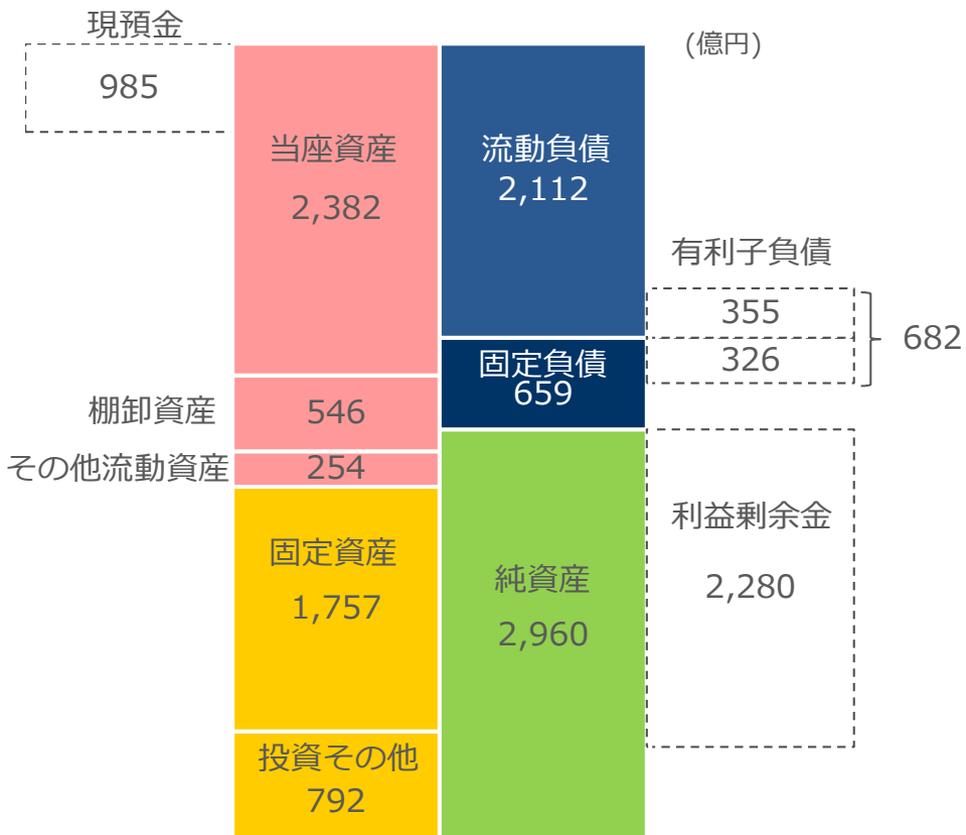
(億円)

	15.3期 (14年度末) 実績	16.3期 (15年度末) 実績	17.3期 (16年度末) 実績	18.3期 (17年度末) 実績	19.3期 (18年度末) 実績	増減額
総資産	5,265	5,062	5,379	5,683	5,731	48
自己資本	2,626	2,572	2,796	2,928	2,811	-117
自己資本比率	49.9%	50.8%	52.0%	51.5%	49.0%	-
現預金	837	725	825	952	985	33
有利子負債	645	573	533	532	682	149
ネット キャッシュ	191	152	291	419	303	-116

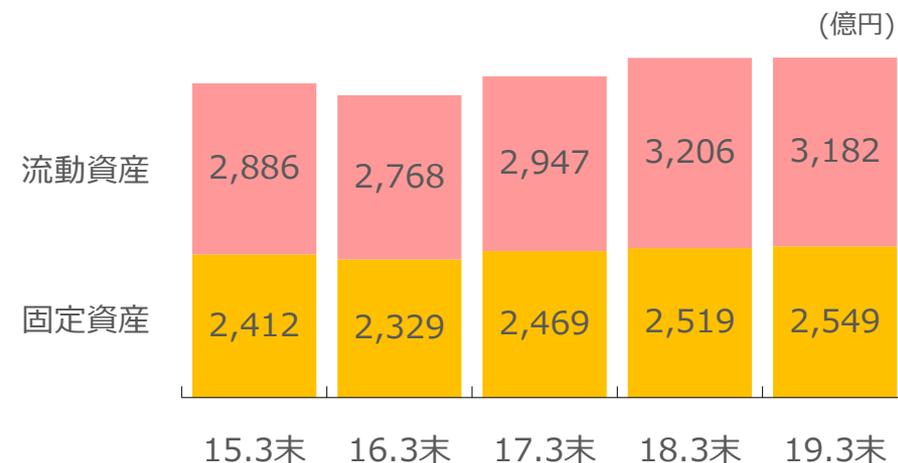
▽19.3期(18年度)の期首より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を適用しており、遡及適用後の数値を記載しております。

19.3期実績 BSの状況

バランス・シート



バランス・シート推移

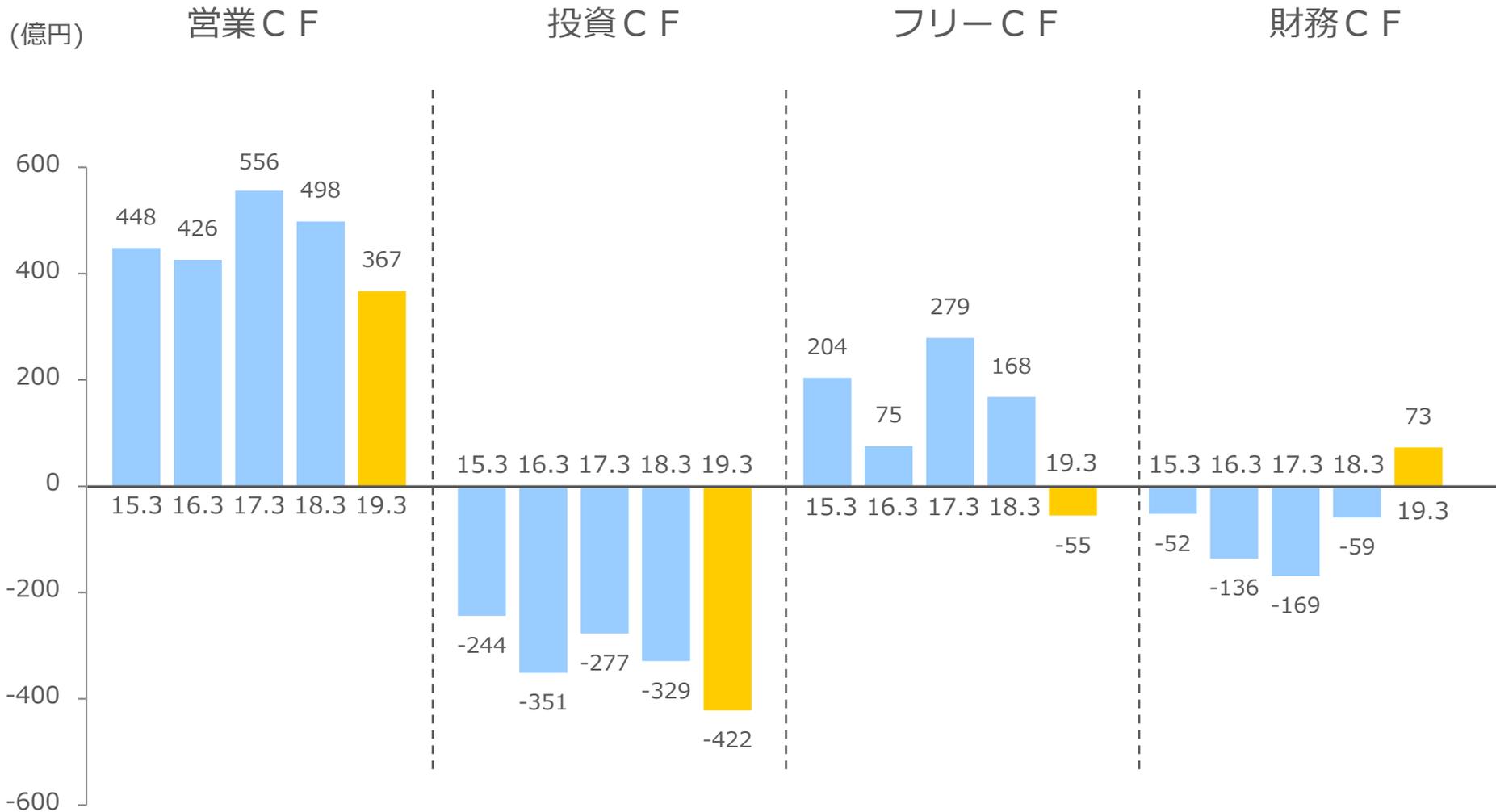


▽資 産：現金及び預金や有形固定資産の増加等により、前期末に比べ48億円増加した。

▽負 債：借入金の増加等により、前期末に比べ164億円増加した。

▽純資産：その他有価証券評価差額金の減少等により、前期末に比べ115億減少した。

19.3期実績 C F の状況

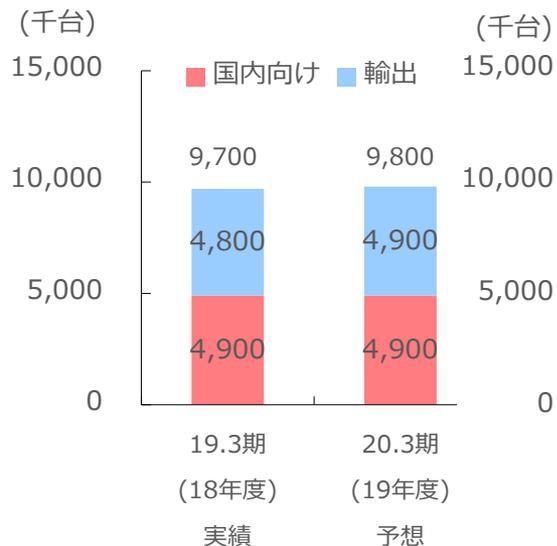


20.3期業績予想

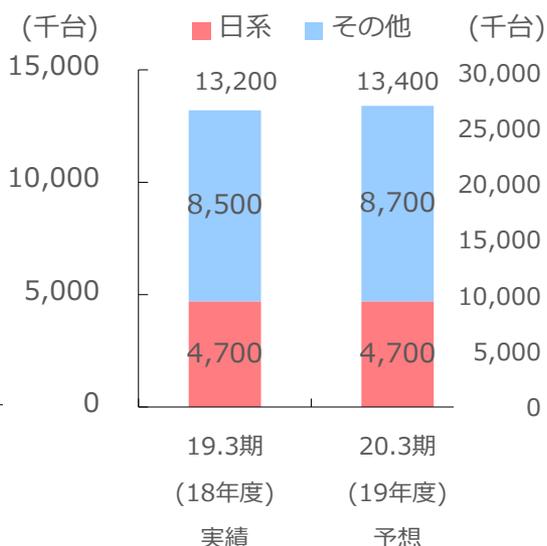
20.3期業績予想 業績予想の前提条件

自動車生産台数

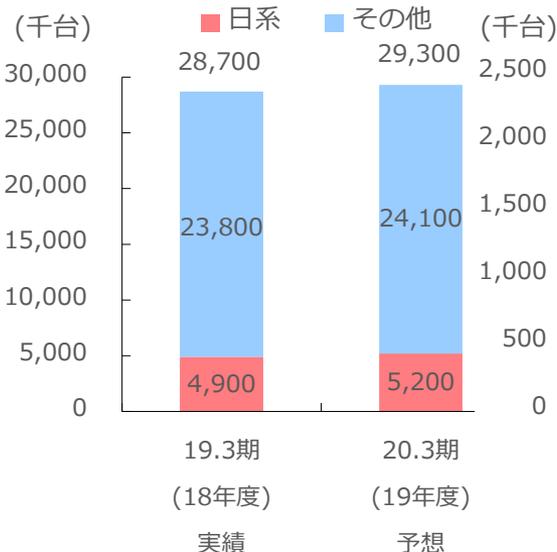
日本



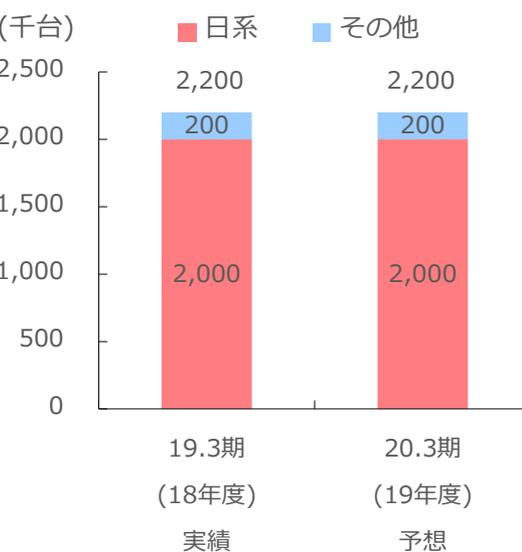
北米



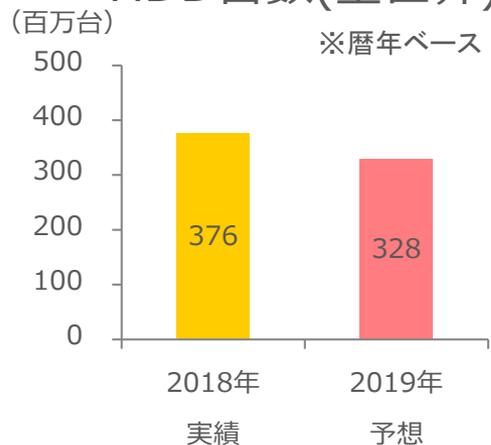
中国



タイ



HDD台数(全世界)



▽自動車生産台数は、全世界で1.9%程度の増加を見込む。

▽貿易摩擦等により腰折れのリスクがあるものの、日本経済は内外需ともに底堅く推移すると見込まれ、自動車生産台数は0.7%の増加となる見通し。

20.3期業績予想
2020年3月期通期計画

(億円)

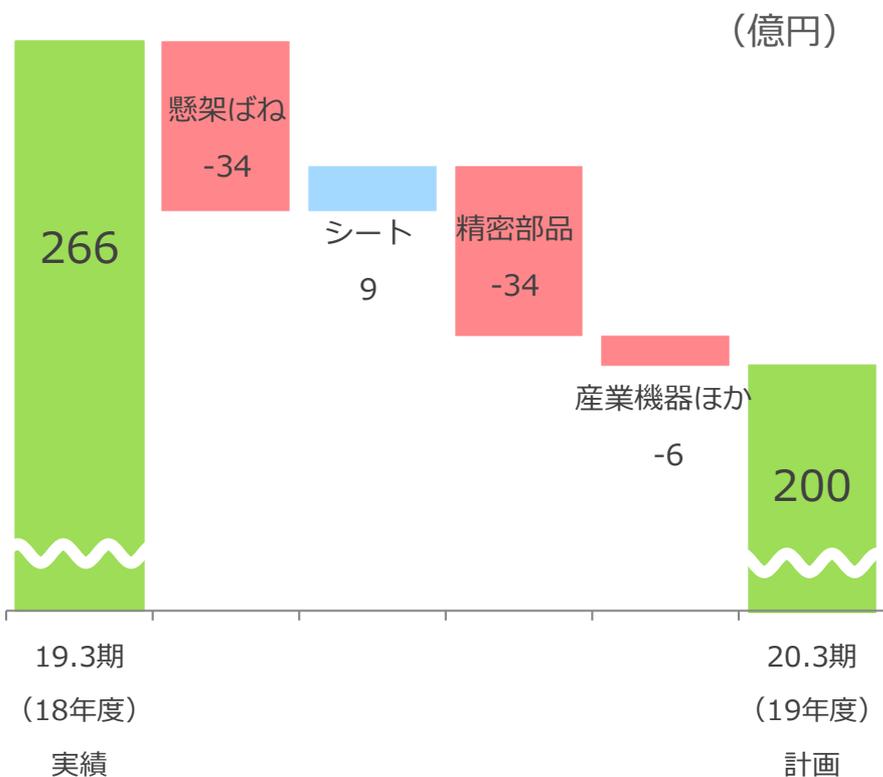
	19.3期 (18年度) 実績	20.3期 (19年度) 計画	前期比
売上高	6,810	6,900	1.3%
営業利益 営業利益率	266 3.9%	200 2.9%	△25.0%
経常利益 経常利益率	314 4.6%	220 3.2%	△30.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	71	140	97.1%
EPS (単位：円)	29.97	59.05	—
ROE	2.5%	4.9%	—
為替レート (US\$) (タイバーツ)	110.7 3.4	105.0 3.4	— —

20.3期業績予想

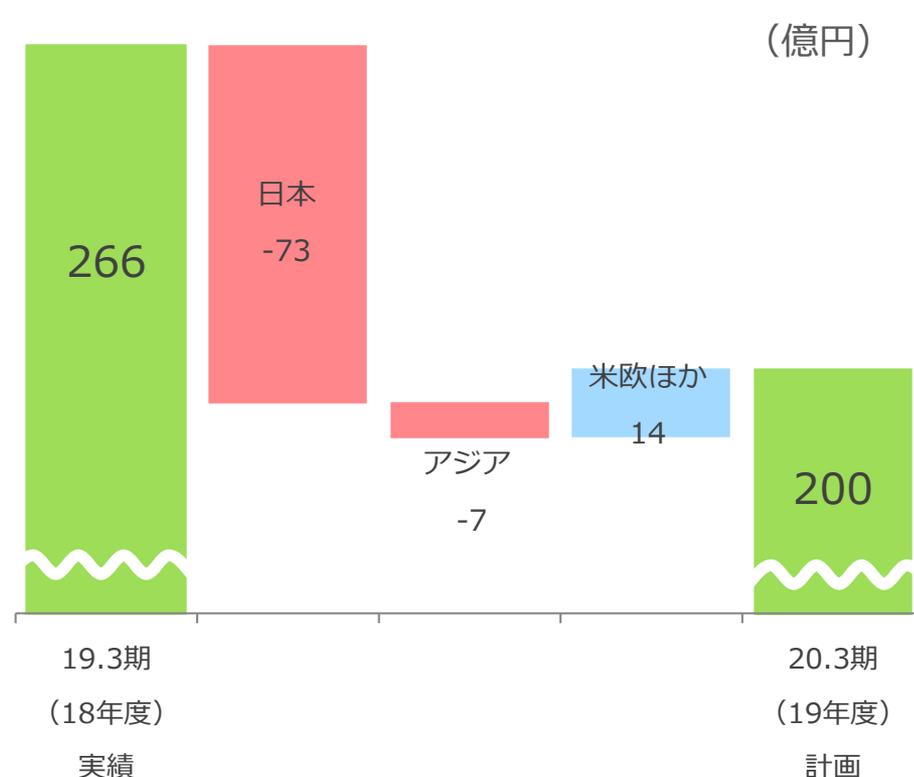
営業利益の変動要因分析

- ◆ シート事業は、数量増、合理化等に伴う固定費削減等により増益となる見込みであるが、その他の事業においては、製品構成の変化、固定費の増加等により、減益となる見込み。
- ◆ 日本は、競争力強化、新規受注に向けた研究開発、設備投資の継続に伴う固定費の増加、製品構成の変化等により減益、アジア地域は、数量減により減益、米欧ほかは、徹底的なコスト削減による原価圧縮と固定費削減を図る。

事業セグメント別



地域セグメント別



20.3期業績予想

セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 米欧ほか地域の収支改善を見込んでいるものの、シート事業を除く各事業において、増収減益となる見通し。

(億円)

		19.3期 (18年度) 実績	20.3期 (19年度) 計画	前期比
懸架ばね	売上高	1,288	1,309	1.6%
	営業利益	61	27	△56.4%
	率	4.8%	2.1%	—
シート	売上高	3,032	3,071	1.3%
	営業利益	44	54	21.7%
	率	1.5%	1.8%	—
精密部品	売上高	1,529	1,540	0.7%
	営業利益	97	63	△35.7%
	率	6.4%	4.1%	—
産業機器ほか	売上高	959	980	2.2%
	営業利益	62	56	△10.1%
	率	6.5%	5.7%	—
合計	売上高	6,810	6,900	1.3%
	営業利益	266	200	△25.0%
	率	3.9%	2.9%	—

20.3期業績予想

地域別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 日本：製品構成の変化、固定費増等から増収減益となる見通し。
- ◆ アジア：中国は下振れ、タイは増収となる見込みであるが、製品構成の変化等により減益となる見通し。
- ◆ 米欧ほか：シート事業を中心に収支改善を見込む。

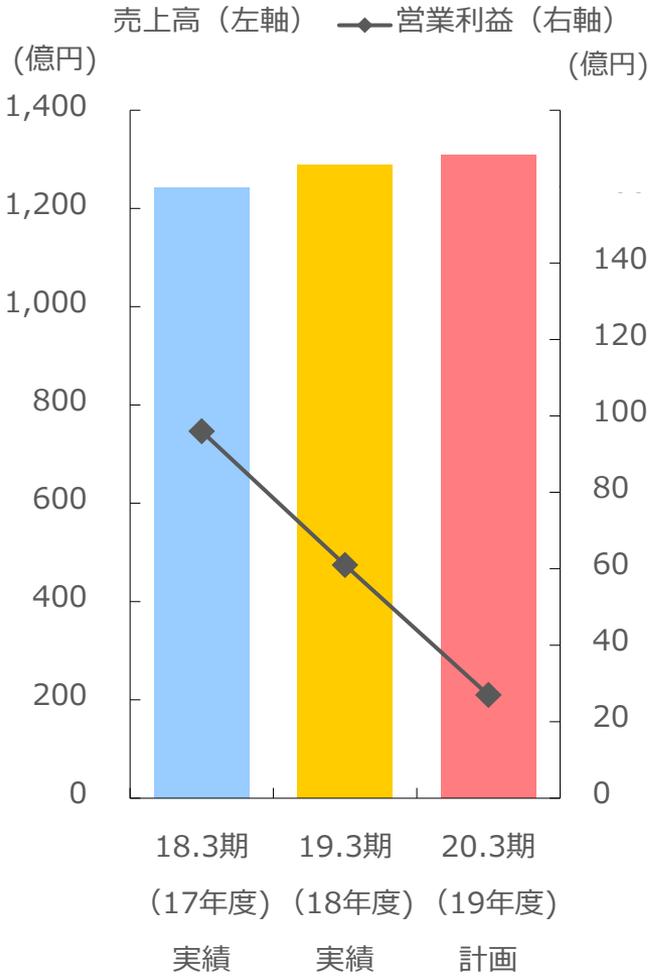
(億円)

		19.3期 (18年度) 実績	20.3期 (19年度) 計画	前期比
日本	売上高	4,032	4,108	1.9%
	営業利益	195	122	△37.6%
	率	4.9%	2.9%	—
アジア	売上高	1,689	1,680	△0.6%
	営業利益	113	106	△6.7%
	率	6.7%	6.3%	—
米欧ほか	売上高	1,087	1,112	2.3%
	営業利益	△42	△28	—
	率	△3.9%	△2.5%	—
合計	売上高	6,810	6,900	1.3%
	営業利益	266	200	△25.0%
	率	3.9%	2.9%	—

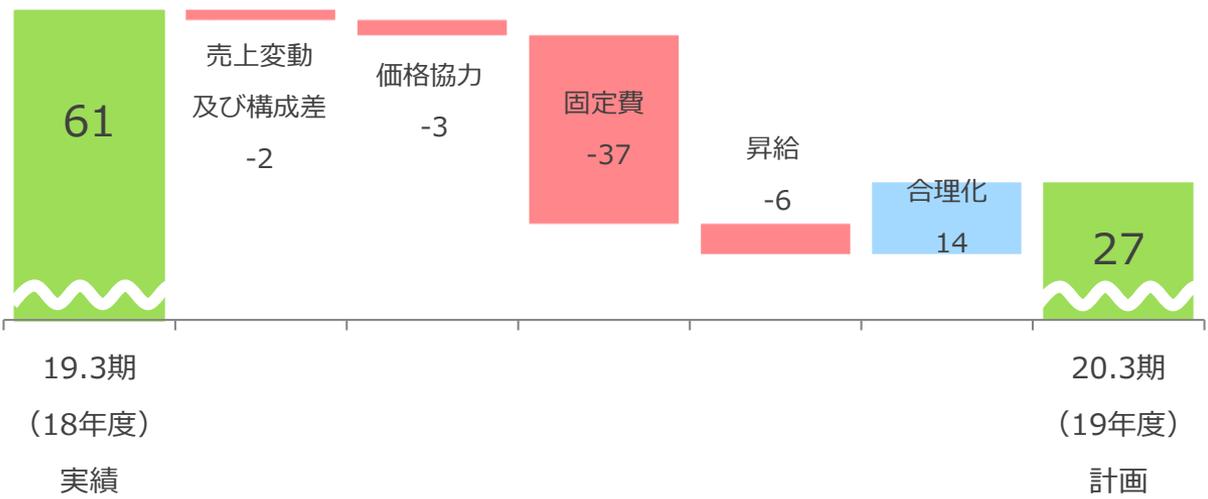
20.3期業績予想 セグメント別分析 懸架ばね

売上高・営業利益の見通し

(億円)



	18.3期 (17年度) 実績	19.3期 (18年度) 実績	20.3期 (19年度) 計画	前期比
売上高	1,242	1,288	1,309	1.6%
営業利益	96	61	27	△56.4%
営業利益率	7.7%	4.8%	2.1%	—

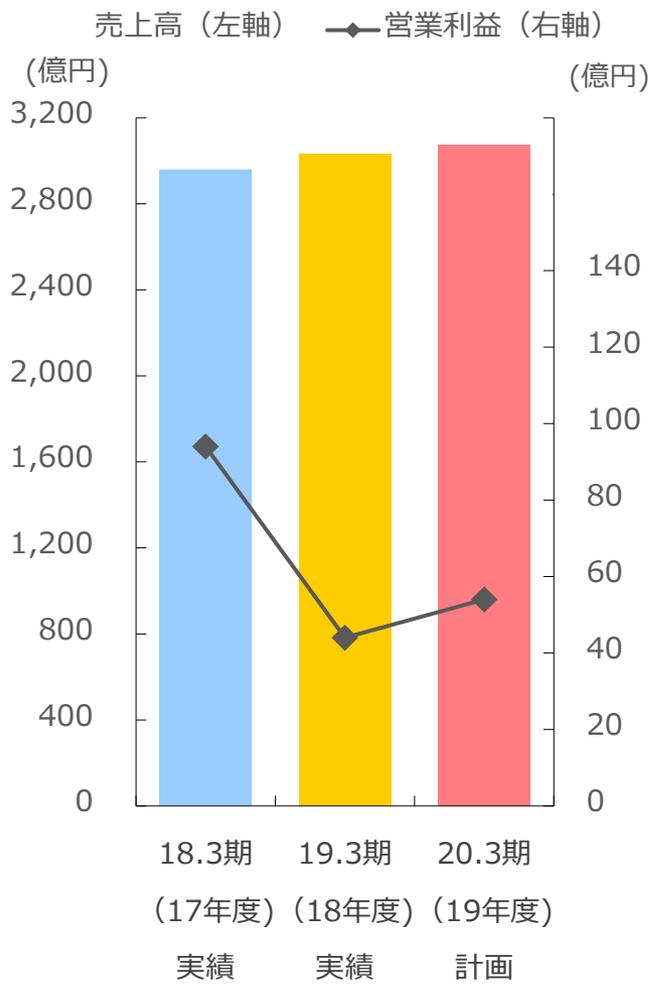


▽全地域において、増収となる見込みであるが、売上変動及び製品構成の変化、固定費増等により減益となる見通し。

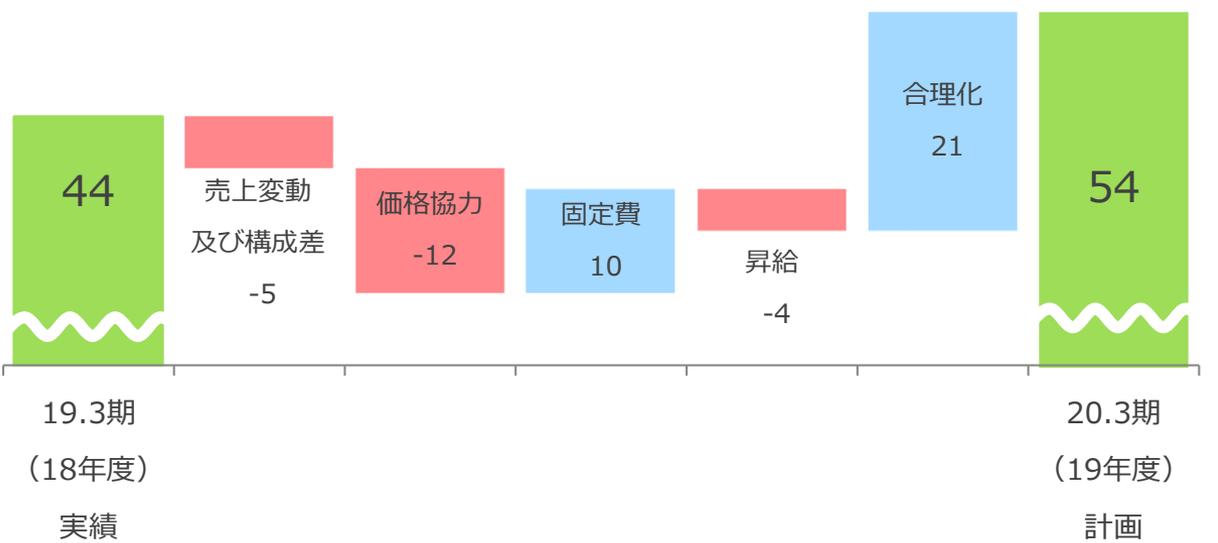
20.3期業績予想 セグメント別分析 シート

売上高・営業利益の見通し

(億円)



	18.3期 (17年度) 実績	19.3期 (18年度) 実績	20.3期 (19年度) 計画	前期比
売上高	2,957	3,032	3,071	1.3%
営業利益	94	44	54	21.7%
営業利益率	3.2%	1.5%	1.8%	-

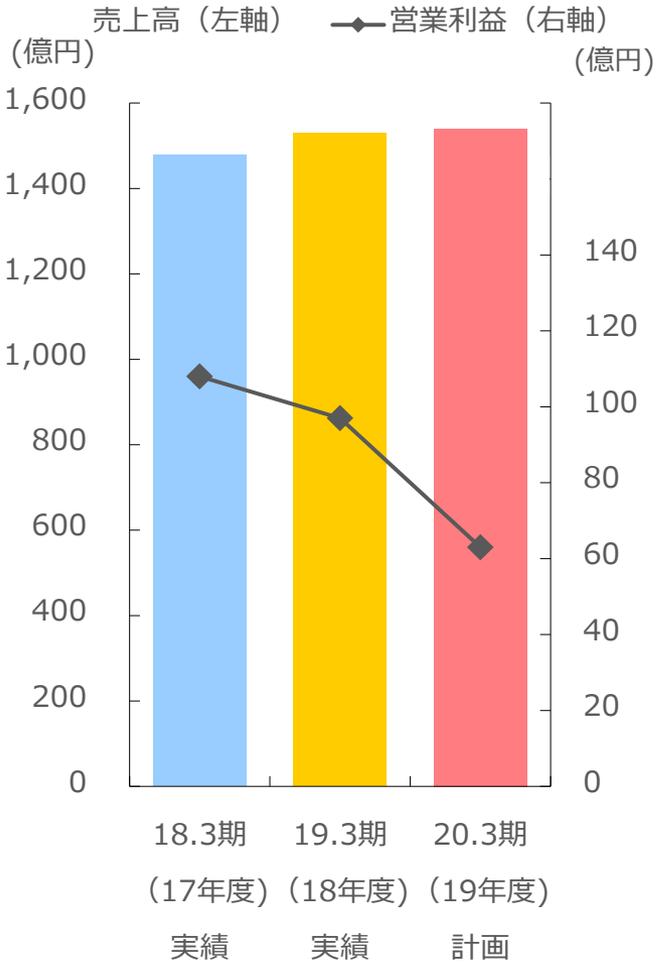


▽日本及び米欧ほかにおいて、売上が拡大する見込みであり、固定費削減、合理化等により、増益となる見込み。

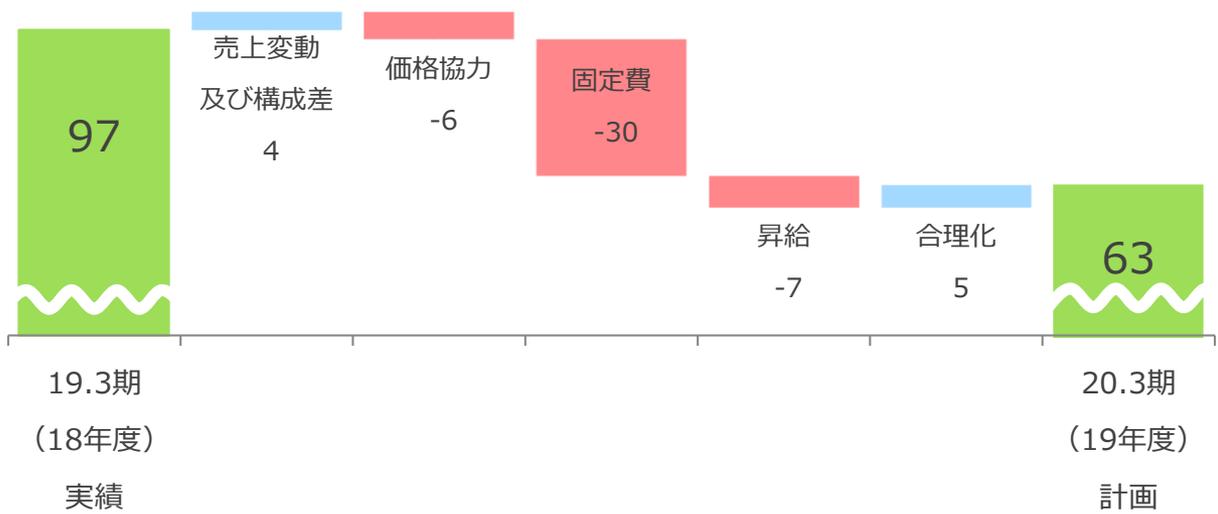
20.3期業績予想 セグメント別分析 精密部品

売上高・営業利益の見通し

(億円)



	18.3期 (17年度) 実績	19.3期 (18年度) 実績	20.3期 (19年度) 計画	前期比
売上高	1,478	1,529	1,540	0.7%
営業利益	108	97	63	△35.7%
営業利益率	7.3%	6.4%	4.1%	-



▽自動車関連は新工場建設に伴う費用等、固定費が増える見込みであり、HDD関連はHDD台数が減少する見込みとなっており、減益となる見通し。

20.3期業績予想 設備投資・減価償却費

(億円)

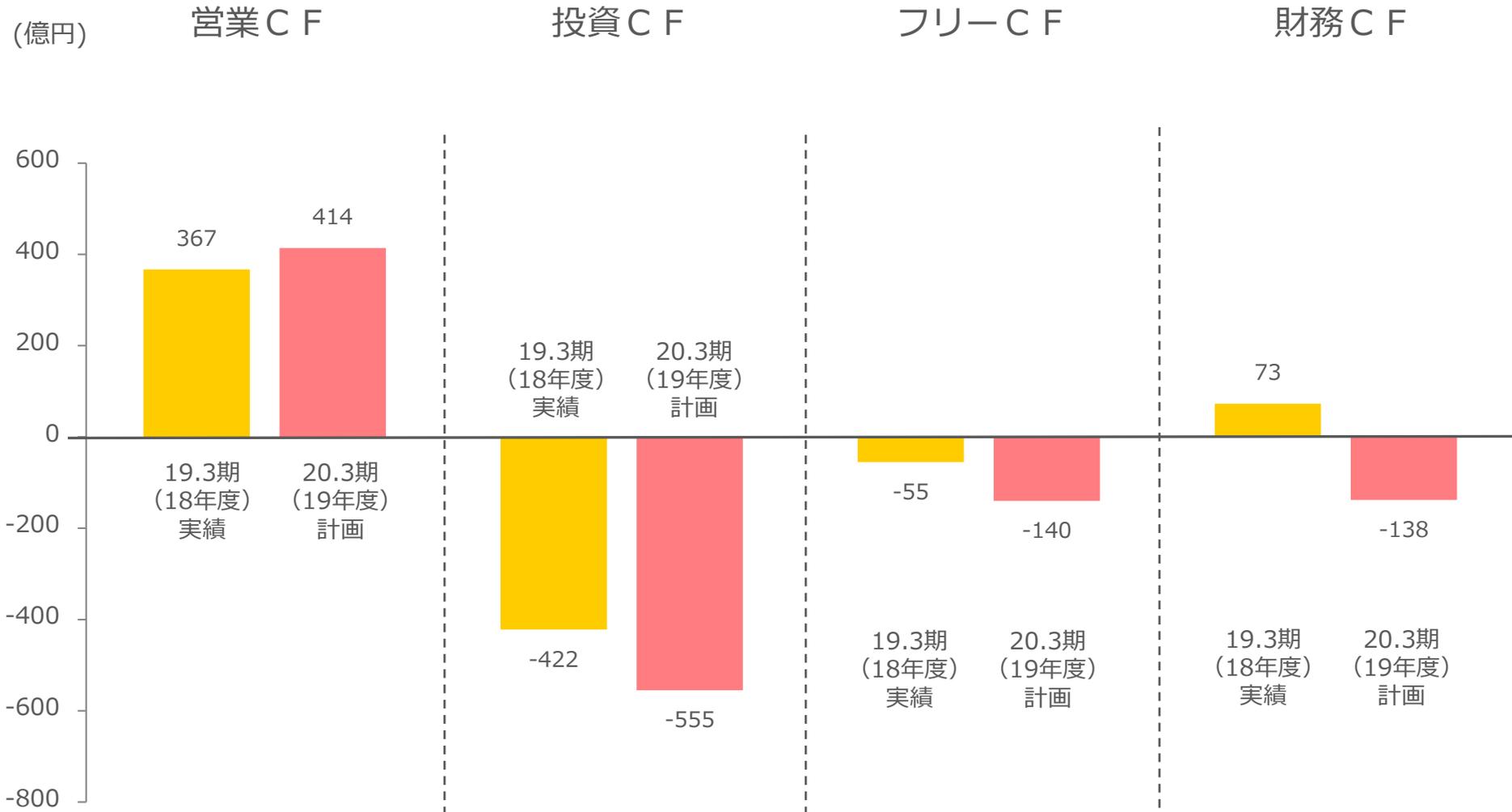
		18.3期 (17年度) 実績	19.3期 (18年度) 実績	20.3期 (19年度) 計画
設備投資	国内	228	267	302
	海外	111	182	253
	小計	340	449	555
	非連結	29	23	13
	合計	369	472	568
減価償却費	国内	138	149	176
	海外	102	100	108
	合計	241	250	284

20.3期業績予想 設備投資・減価償却費

(億円)

		18.3期 (17年度) 実績	19.3期 (18年度) 実績	20.3期 (19年度) 計画
設備投資	懸架ばね	74	125	217
	シート	70	65	82
	精密部品	128	148	184
	産業機器ほか	50	88	42
	全社共有	16	22	29
	合計 前期比	340 32.7%	449 32.2%	555 23.5%
減価償却費	懸架ばね	60	54	65
	シート	53	60	56
	精密部品	89	93	111
	産業機器ほか	24	26	34
	全社共有	13	15	15
	合計 前期比	241 4.3%	250 3.6%	284 13.8%

20.3期業績予想 C F の状況

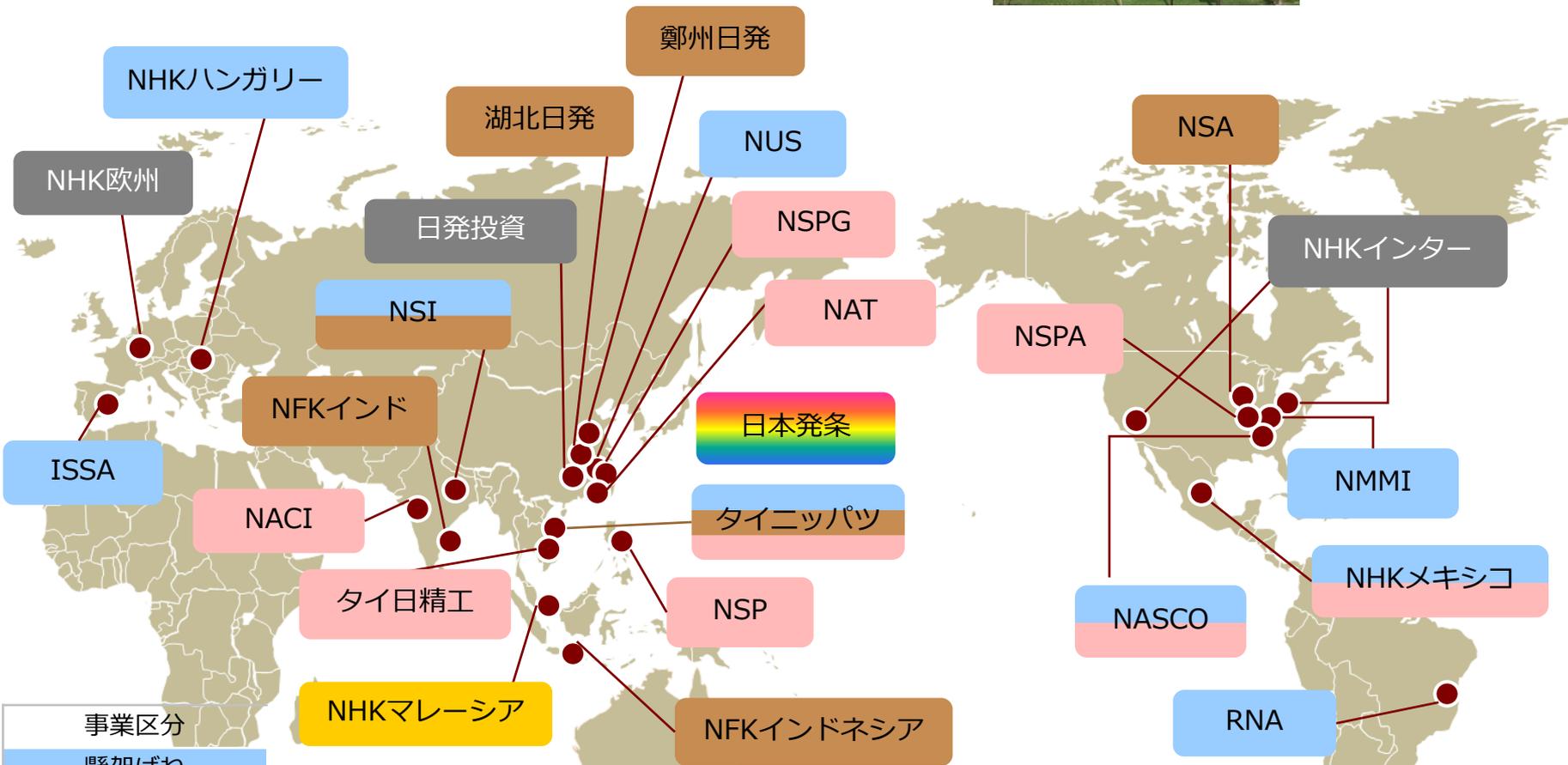


NHKニッパツ

- 本資料に記載している日本発条(株)の予想、計画は、将来の実績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、経済情勢、市場動向、為替の動向等、重要な要素の変動により、見通しとは異なる結果となり得ることもご承知下さい。
- 本資料に掲載されている事項は情報提供を目的とするものであり、投資勧誘を目的としているものではありません。
- この資料の著作権は日本発条(株)に帰属しております。
無断転載・複製することを禁じます。

補足資料

補足資料：海外展開の状況 主要海外拠点



事業区分
懸架ばね
シート
精密部品
産業機器ほか
地域統括・事業支援
全製品



Q:主要カーメーカーへの売上比率は？

A:19年3月期の実績は下表のとおり。

主要カーメーカー	18.3期 (2017年度) 実績	19.3期 (2018年度) 実績
日産グループ	19%	19%
SUBARUグループ	15%	15%
トヨタグループ	13%	13%
いすゞグループ	5%	5%
ホンダグループ	4%	4%
スズキグループ	4%	4%
三菱グループ	2%	3%
マツダグループ	1%	1%
上位3社	47%	47%

[注]比率は総売上高に対する割合

Q:HDD用サスペンションの拠点別数量は？（暦年ベースと決算ベース）

A:2018年実績、2019年実績は下表のとおり。

（単位：百万個）

暦年ベース	C Q 1	C Q 2	上期	C Q 3	C Q 4	下期	通期
2018年実績	192	199	390	193	178	370	761
<日本>	91	97	188	90	86	176	364
<中国>	34	32	67	34	41	75	142
<タイ>	66	69	135	68	51	119	255
2019年実績	147	-	-	-	-	-	-
<日本>	62	-	-	-	-	-	-
<中国>	32	-	-	-	-	-	-
<タイ>	52	-	-	-	-	-	-

決算ベース	F Q 1	F Q 2	上期	F Q 3	F Q 4	下期	通期
2018年実績	198	192	390	188	155	343	732
<日本>	97	90	187	86	62	148	336
<中国>	34	32	67	34	41	75	142
<タイ>	66	69	135	68	51	119	255
2019年実績	-	-	-	-	-	-	-
<日本>	-	-	-	-	-	-	-
<中国>	32	-	-	-	-	-	-
<タイ>	52	-	-	-	-	-	-

補足資料：よくある質問と回答

HDD関連の状況

HDD台数(百万台)

	C Q 1	C Q 2	上期	C Q 3	C Q 4	下期	通期
2018年実績	94	96	190	97	88	186	376
2019年実績	78	-	-	-	-	-	-

サスペンション総需要(百万個)

	C Q 1	C Q 2	上期	C Q 3	C Q 4	下期	通期
2018年実績	448	471	919	475	432	906	1,825
2019年実績	351	-	-	-	-	-	-

サスペンションカウント (個)

	C Q 1	C Q 2	上期	C Q 3	C Q 4	下期	通期
2018年実績	4.78	4.89	4.83	4.87	4.90	4.88	4.86
2019年実績	4.50	-	-	-	-	-	-

NHKシェア(%)

	C Q 1	C Q 2	上期	C Q 3	C Q 4	下期	通期
2018年実績	42.9	42.2	42.5	40.6	43.6	41.9	42.3

[注]HDD台数、サスペンション総需要、サスペンションカウント、シェアは当社推定値。